

「ITガバナンス入門」コース

「テキスト」

提供：三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

コースの目標

ITガバナンスのために基礎となる知識とその構築要件を修得する

- ◆ITガバナンス必要性と経営要件との繋がりを整理できる
- ◆ITガバナンスに関係するメソロジー知識を理解出来る
- ◆COBIT4.0での、IT成熟度とビジネス達成目標展開の手順を理解できる

コースの主旨

◆ITガバナンスとは、『経営戦略に基づいた情報システムを構築し、運用していくためのIT資源の統治』です。

◆企業の成長の第1の要因に効果的な**ビジネスプロセス改革**があります。この改革にはITが関係しないものはなくなってきました。ITが経営のツールから**経営実践の仕組み**へと替わってきました。

◆エンタープライズシステムの観点で「**効果的なIT投資、構築、運用に係るITの統治をすること**」が重要な位置を占めることになりました。

このITガバナンスの必要性、知識要件、構築要件をCOBIT4.0とその他のメソロジーのもとに**体系的に修得**すること。

カリキュラム構成

章と目的	単元	研修項目
第1章 ITガバナンスが求められる背景と要件 目的: ITガバナンスの定義のもと、そのITガバナンスに求められる経営の背景と要件を整理する	1. ITガバナンスとは 2. 経営活動とIT環境 3. 経営戦略と情報システム 4. ビジネスプロセス改革 5. 経営成熟度とIT成熟度 6. ITガバナンスの要件	ITガバナンスの定義 (1) 経営活動とIT環境 (2) ITガバナンス (3) 経営戦略と情報システム (4) ITガバナンスとビジネスプロセス改革 (5) 経営成熟度とIT成熟度 (6) ITガバナンスの要件

カリキュラム構成

章と目的	単元	研修項目
第2章 ITガバナンスの知識エリア 目的: ITガバナンス構築-運用に係るメソロジー知識を修得する	1. ITガバナンス構築のメソロジー 2. COBITフレームワーク構成 3. 内部統制、モニタリング、リスク管理 4. 調達-情報ドメイン知識エリア 5. 運用ドメイン知識エリア	(1) ITガバナンス要件達成プロセス (2) COBITを基にしたメソロジー (3) COBITの構成要素 (4) 内部統制 (5) ITガバナンスのメソロジー (6) ITガバナンスのメソロジー (7) PMBOK (8) COBIT (9) ITIL (10) BCP (11) SLAとSLA管理

カリキュラム構成

章と目的	単元	研修項目
第3章 COBITのビジネス目標構築 目的: ビジネス達成目標をCOBITのITガバナンスへ展開する論理的展開を整理する	1. ビジネス目標達成フレーム 2. ビジネス達成目標の展開	(1) COBITのビジネス要件達成プロセス (2) エンタープライズアーキテクチャ (3) ビジネス達成目標の展開フレーム

第1章 ITガバナンスが求められる背景

章の概要

1. ITガバナンスとは
2. 経営活動とIT環境
3. 経営戦略と情報システム
4. ビジネスプロセス改革
5. 経営成熟度とIT成熟度
6. ITガバナンスの目標

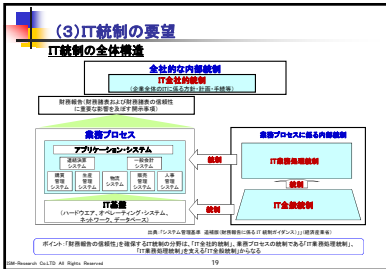
1.ITガバナンスとは

- 1.1 経済産業省のITガバナンス
- 1.2 内部統制のITガバナンス
- 1.3 PMBOKのITガバナンス
- 1.4 COBITのITガバナンス

1.1 経済産業省のITガバナンスの定義

企業が**競争優位性構築**を目的に、IT(情報技術)戦略の**策定・実行をコントロールし、あるべき方向へ導く組織能力**

平成11年通商産業省



(3) IT統制の要望

IT統制の要件

IT統制の種類	目的	統制項目
IT全社統制	企業全体のITを健全に維持・監督するため、構築する。当該統制の成果を定期的にITの経営活動に反映させる。	<ul style="list-style-type: none"> ITに関する基本方針の作成・更新(編纂) ITに関するITの経営活動(ISO/IEC 37001) 統制の役割と責任の明確化 情報セキュリティの確保(機密性) 統制の運用状況の監視(メトリクス)
IT業務統制	IT業務プロセスに適用する業務プロセスにおける情報の信頼性を確保するためのプロセスを構築し、運用を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ITの計画、実行に関する管理 システムの変更管理 内外からのアクセス管理のシステムの実装 内外からのアクセス管理の運用
IT業務環境統制	ITにおいて使用された資源の信頼性を確保し、運用を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> 人・力資源の信頼性を確保する統制 人・力資源の信頼性を確保する統制 データの信頼性を確保する統制 データの信頼性を確保する統制

※ポイント「IT統制」は全社統制の統制項目として、「IT全社統制」と「IT業務統制」の統制項目を包含することが求められる。

- ### 「経営活動とIT環境」のまとめ
1. ITは経営活動を補完するプロセス改善と捉える必要がある。
 2. 「財務報告の信頼性」を確保するIT統制の分類は、「全社統制」・「業務プロセス統制」である「IT業務統制」を支える「IT全社統制」からなる。

- ### 5. 経営成熟度とIT成熟度
- 5.1 経営成熟度とIT成熟度
 - 5.2 モニタリング&コントロール

- ### 6. ITガバナンスの要件
- 6.1 COBITのITガバナンス定義
 - 6.2 ITガバナンスの重点領域
 - 6.3 ITガバナンスフレームワーク

6.1 COBITのITガバナンス定義

ITガバナンスとは、
「準備すべき優れた実践方法(手法)を収集、整理し、これを仕組みとして定着させることによって、**企業におけるITが確実にビジネス目標をサポートできるようにするもの**」

そのために、
「ITのコントロールに係る何らかのフレームワークが必要」

COBIT

※ポイント「ITガバナンス」は、その実質のフレームワークIT活用を前提の要件として定義している。

6.2 ITガバナンスの重点領域

The diagram shows five key areas of IT governance:

- 戦略との整合 (Alignment with Strategy):** ITは企業戦略の達成に貢献するべきであり、IT戦略を定義、実行、評価することによって、企業戦略の達成に貢献することを目指す。
- 信頼性の確保 (Assurance):** 信頼性を確保し、IT戦略を推進する。特に信頼性を確保し、ITの本質的な価値を最大化すること。信頼性において、信頼性向上と信頼性の確保の両方を追求する。
- 資源の管理 (Resource Management):** 企業に必要とされるITリソース(人、情報、インフラストラクチャ、資金)に効果的にアクセスし、適切な管理を確保し、中でも主要な問題に迅速に対応すること。
- リスクの管理 (Risk Management):** 経営上のリスクを認識すること、企業リスクの傾向を把握し、理解すること。(注: 信頼性) 経営上のリスクを認識すること、企業リスクの傾向を把握し、理解すること。
- 成果の測定 (Measurement of Results):** 経営の実績状況、プロセスの進捗状況、資源の使用状況、プロセスの運用、およびITへの投資の効果を測定すること。

※ポイント「ITガバナンス」は、その実質のフレームワークIT活用を前提の要件として定義している。

6.3 ITガバナンスフレームワーク

ITガバナンスのための要件

- IT戦略およびIT達成目標の整合性の確保
- 戦略と達成目標の実現を促進する信頼性の確保
- ITガバナンス部門とIT部門間、および外部パートナーとの建設的な関係の構築と効果的なコミュニケーションの確立
- IT成果の測定

コントロールフレームワークの要件

- ITガバナンスとITの両方をカバーできる
- コントロールの要件に対するIT成果の測定ができる
- ITに関連するアクティビティの一般的なプロセスモデルの体系がある
- 活用する主なIT資源の特性を考慮できる
- 考慮すべき経営上のコントロール目標の明確化

※ポイント「ITガバナンス」は、その実質のフレームワークIT活用を前提の要件として定義している。

- ### 「ITガバナンスの要件」のまとめ
1. ITガバナンスとしてのITガバナンス定義のITコントロールのフレームワークがCOBITである。
 2. ビジネス目標を達成するITガバナンスへの要求事項として5つの重点領域をCOBITでは指摘している。
 3. ITガバナンスの要件は、その実質のフレームワークIT活用を前提の要件として定義している。

第2章 ITガバナンスの知識エリア

章の概要

1. ITガバナンス構築のメソドロジー
2. COBITフレームワーク構成
3. 計画と組織&モニタリングドメイン知識エリア
4. 調達と導入ドメイン知識エリア
5. サービス提供とサポートドメイン知識エリア

ISM-Research Co., Ltd. All Rights Reserved 28

1. ITガバナンス構築のメソドロジー

- 1.1 ITガバナンス要件達成プロセス
- 1.2 COBITと各メソドロジー
- 1.3 IT成熟度メソドロジー

ISM-Research Co., Ltd. All Rights Reserved 29

1.1 ITガバナンス要件達成プロセス

ITガバナンス構築の構造

ポイント: ITガバナンス構築手順はIT投資要件を定め、統合するためのITプロセスを構築しITの達成目標の達成を調整する。

ISM-Research Co., Ltd. All Rights Reserved 30

1.2 COBITと各メソドロジー

ITプロセスの業務構造

ポイント: COBITでは、ITプロセスを4つの業務構造で定義し、他のメソドロジーと統制領域の共存している。

ISM-Research Co., Ltd. All Rights Reserved 31

1.2 COBITと各メソドロジー

COBITと関係するITガバナンスメソドロジー

ポイント: BSCはビジネス目標、COBITはIT目標を定めている。その他のメソドロジーはCOBITの下位構造の業務作業レベルの統制を定義し、統制構造を構成している。

ISM-Research Co., Ltd. All Rights Reserved 32

1.3 IT成熟度のメソドロジー

モデル	目的	ビジネス	ITプロセスでの成熟度			
			計画	調達	導入	運用
日本経営品質委員会	経営品質	●				
COBIT	ITガバナンス		●	●	●	●
SPA/CMMI	ソフトウェア開発プロセス能力			●	●	

注1) SPA: Software Process Assessment
注2) CMMI: Capability Maturity Model Integration

ポイント: 業務プロセス能力を表すITガバナンスの成熟度の定義は、日本経営品質委員会、COBIT、SPA/CMMIで設定されている。

ISM-Research Co., Ltd. All Rights Reserved 33

「ITガバナンス構築のメソドロジー」のまとめ

1. ITガバナンス構築手順はIT投資要件を決め、統合するためのITプロセスの構築とITの達成目標の設定を調整する。
2. COBITでは、ITプロセスを4つの業務構造で定義し、他のメソドロジーと統制領域の共存している。
3. BSCはビジネス目標、COBITはIT目標を定義し、その他のメソドロジーはCOBITの下位構造の業務作業レベルの統制を定義し、統制構造を構成している。
4. 業務プロセス能力を表すITガバナンスの成熟度の定義は、COBIT、SPA/CMMIで設定されている。

ISM-Research Co., Ltd. All Rights Reserved 34

2. COBITフレームワーク構成

- 2.1 COBITの構成要素
- 2.2 COBITコントロール目標
- 2.3 IT成熟度

ISM-Research Co., Ltd. All Rights Reserved 35